

「青森の道づくり懇談会」の開催について ～青森のみちの業績計画書(案)への意見～

平成15年度より道路行政においては、道路施策・事業をより理解して頂くために、アウトカム指標を用いて「毎年度、業績の分析と評価を行い、その結果を公表する」新たな道路行政マネジメントシステムを導入します。

このため、当年度の道路施策、事業の必要性等をアウトカム指標を用いて明らかにするとともに、アウトカム指標を用いた現況値及び目標値を県民に提示するため、「青森のみちの 業績計画書(案) (アウトカム・プラン)」を策定・公表し、県民に対する説明責任を果たすとともに、県民の目による評価を受けることで、より透明性、客観性の高い、効果的、効率的な施策、事業の展開を図るものです。

「平成15年度 青森のみちの 業績計画書(案) (アウトカム・プラン)」の策定にあたっては、県民の視点から成果の評価手法や評価結果の妥当性について、ご意見を頂くため、「青森の道づくり懇談会」を下記のとおり開催致します。

なお、来年度においては、今年度策定する「青森のみちの 業績計画書 (アウトカム・プラン)」の評価対象となった道路施策、事業に対して、その効果をアウトカム指標を用いて分析・評価し、今後の道路施策、事業に反映すべき事柄を明らかにするため「青森のみちの 達成度報告書 (アウトカム・レポート)」を策定・公表する予定となっています。

アウトカム指標とは

施策・事業の実施により発生する効果・成果（アウトカム）を表す指標

これまでは、事業を実施することによって直接発生した成果物・事業量（アウトプット）を表す指標を用いて施策や事業の評価を行うことが一般的でした。

例えば、「交通安全の推進」という施策を構成する「歩道の設置」という事業があるとすれば、「歩道を年度内に〇〇m設置する」というのがアウトプットであり、その成果として「交通事故件数が減少する」ということがアウトカムです。

記

1. 開催日時：平成15年6月13日(金) 13:30~15:00
2. 開催場所：青森グランドホテル（南館6F「サルビアの間」）
3. 議 事：「青森のみちの業績計画書(案)」について
4. 組 織：「青森の道づくり懇談会」の委員は別紙のとおり
5. 青森県幹線道路協議会構成機関

国土交通省東北地方整備局・青森県・日本道路公団東北支社
・青森県道路公社

※ 当懇談会は報道関係の方に限り公開します。ただし、カメラ撮影は冒頭のみとさせていただきます。

新たな道路行政マネジメントの背景

○「行政機関の行う政策の評価に関する法律(平成14年4月1日施行)」が施行され、政府全体として国民的視点に立った成果を重視した行政への転換を推進。

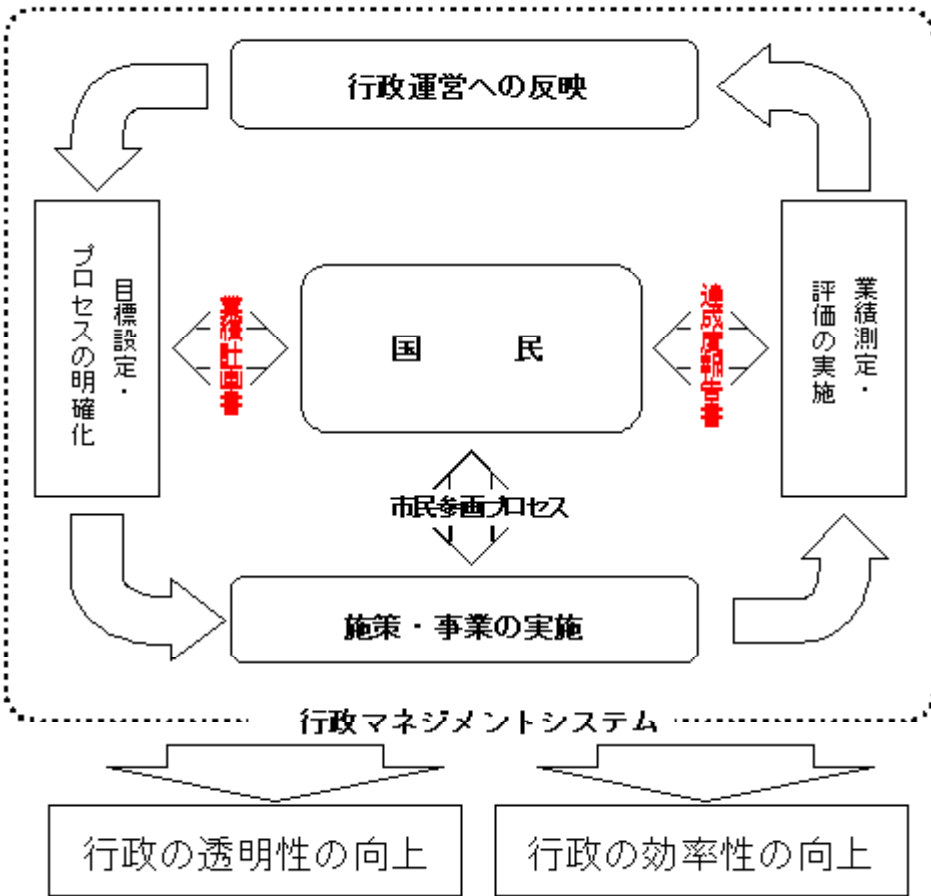
○「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2002(平成14年6月25日閣議決定)」において「計画策定の重点をその分野の特性を踏まえつつ、従来の「事業量」から計画によって達成することを目指す成果にすべき」とされている。

○国土交通省においても、「平成13年度 国土交通省政策評価年次報告書(平成14年6月公表)」において、政策評価制度の導入により成果主義の行政運営への転換を進めるべきであることを提示。

○「社会資本整備審議会・中間答申(平成14年8月2日答申)」において「道路行政をアウトカム指標に基づき運営を行う方式に転換し、毎年度、指標に基づき

業績の分析・評価を行い、その結果を予算編成等に適切に反映させるシステムを構築すべき」と提言。

新たな道路行政マネジメントのイメージ



青森の道づくり懇談会委員名簿

(敬称略)

	氏名	役職名
委員(座長)	井上 隆	青森大学経営学部長
委員	梅内 敏治	(社)青森県観光連盟理事長
委員	菊池 武弘	(社)青森県バス協会会長
委員	北村 真夕美	(株)青森経営研究所代表取締役
委員	千田 泰子	(社法)青森県すこやか福祉事業団理事長
委員	程川 竜児	(社)日本青年会議所東北地区青森ブロック協議会会長
委員	米澤 章子	青森放送(株)放送部長

問い合わせ先

- ・国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所
〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
TEL 017-734-4521
調査第二課長 金ヶ瀬 光正 (内線451)
- ・青森県 県土整備部 道路課 企画調整グループ
〒030-8570 青森市長島一丁目1-1
TEL 017-734-9649
グループリーダー 北道 正敏 (内線4256)